

# ミヤマモジズリ

*Gymnadenia cucullata* (L.) Rich.

ラン科

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

本県では特に稀産の植物である。(現況:RO)

## 形態

日本産テガタドリ属植物のうちでは、唇弁を除く花被片が合着して兜状になるグループに属する。茎は球状に肥厚する根から出て、高さ10~20cm。葉は長楕円形で長さ3~6cm、幅1~2cmのものが2枚、基部に相対して展開する。花は紅紫色で、長さ6~8mm、多数穂状に着き、苞は披針形。距は前方に湾曲する。

## 国内分布

北海道、本州(中部以北:岡山県に記録があるが現状不明)、四国、さらに千島、樺太、朝鮮、シベリア、ヨーロッパと広く分布する。

## 県内分布

白山高地区。

## 生態など

地生の多年生草本。開花期は7~9月。

## 生育環境

亜高山帯の針葉樹林の林床。岩上に生え、または地生。

## 危険要因

現地の調査報告はないが、産地局限、踏みつけ、園芸採取などが想定される。



本多郁夫・2006年9月4日

分布図はありません。